

# 調査に使用するWi-Fiパケットセンサーについて

## 調査に使用するシステム

山梨大学の豊木教授が開発したシステムを活用

## 調査に使用するセンサー

センサー（右上写真）やその周辺には、右中図に示すステッカーを掲示して告知

## センサーで取得するデータについて

データの流れは右下のイメージ図の通りです

センサーは、設置箇所付近の10m～30m程度の範囲に存在する機器から出る電波をカウントします

車両（同乗者を含む）にある機器の電波もカウントしています。現在のところ、歩行者との区別はできていません

以降で紹介する結果は、**固定アドレスを用いる機器のみから届く電波をカウントした数**です

この数は歩行者と単純な比例関係にあるとは言えませんが、ある程度関係があると考えられます。その意味で、以降では「**歩行者指数**」と呼びます

屋内用

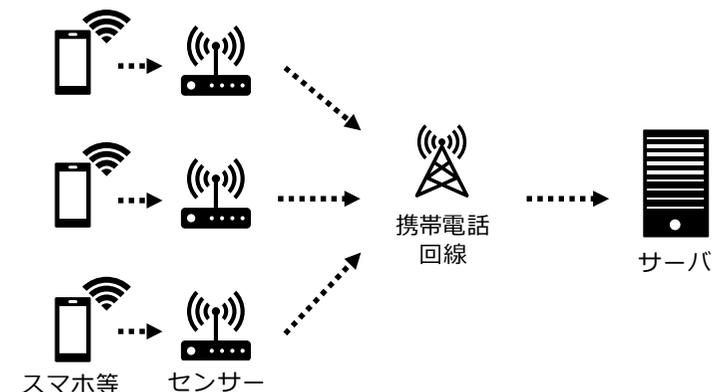
屋外用



調査に使用するセンサー



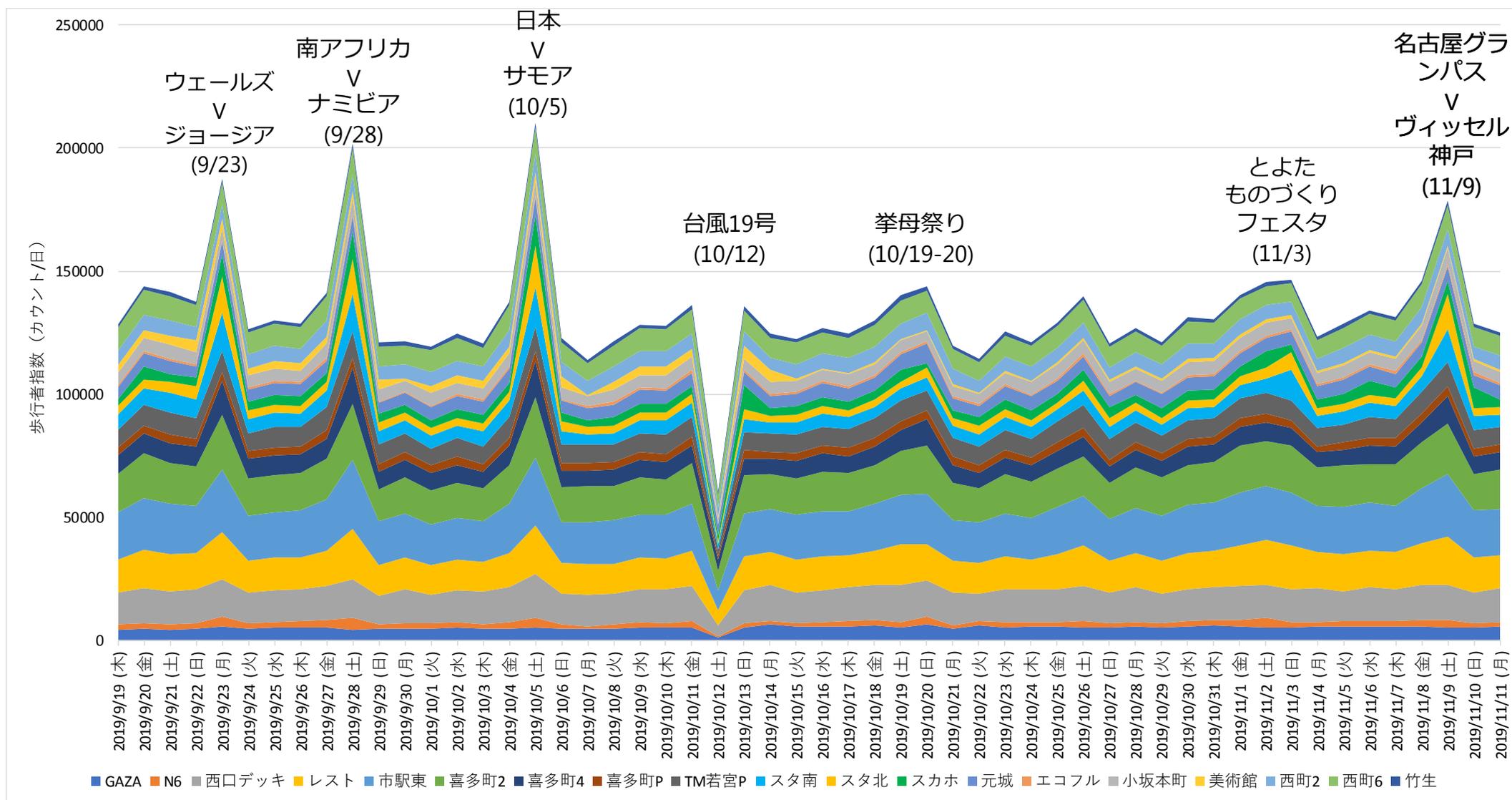
センサー設置箇所付近で行う調査告知



データの流れのイメージ図

# 日別の歩行者指数の推移 (9/19-11/11)

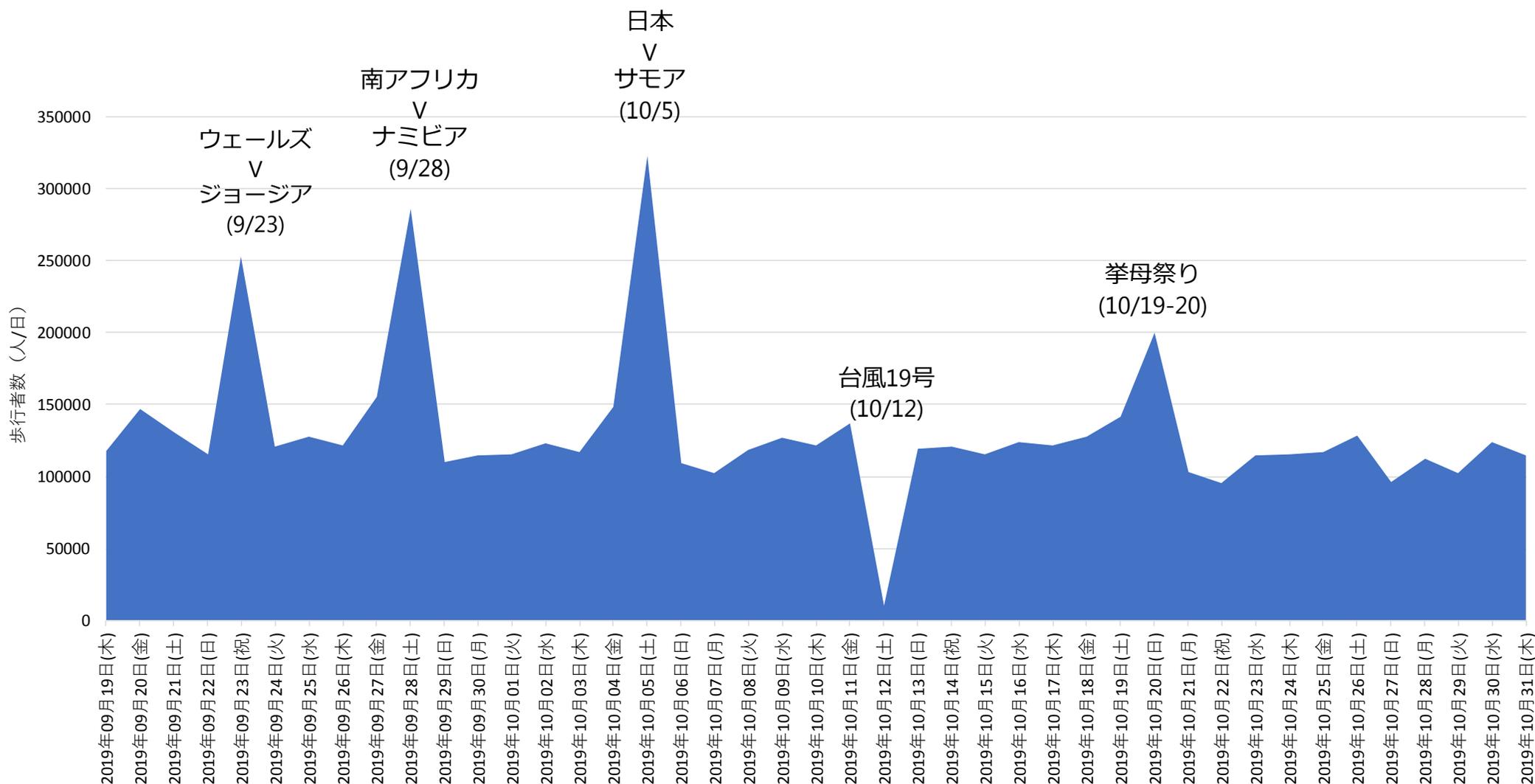
試合開催日 (9/23、9/28、10/5) には、普段よりも多くの人々が来訪している実態が確認できました。台風19号により試合が中止となった日 (10/12) は、来訪者数が極端に少ない実態も確認できます。



Wi-Fiパケットセンサーによる歩行者指数の推移 (9/19-11/11)

# パロツシーによる歩行者数の推移（9/19-10/31）

Wi-Fiパケットセンサーの歩行者指数は、パロツシーのデータと比べて、特に試合開催日の増加の幅が小さいことから、こうした点を考慮して結果を分析する必要があります。



パロツシーによる歩行者数の推移（9/19-10/31）

※20箇所の観測地点の歩行者数の合計

## 2 地点間の人の移動の様子

2点間の流動を見ると、試合開催日は豊田市駅付近から豊田スタジアム間の流動が顕著に増加することが確認できます。

また、ファンゾーンが設置されたスカイホール豊田への流動も増えている様子が確認できます。

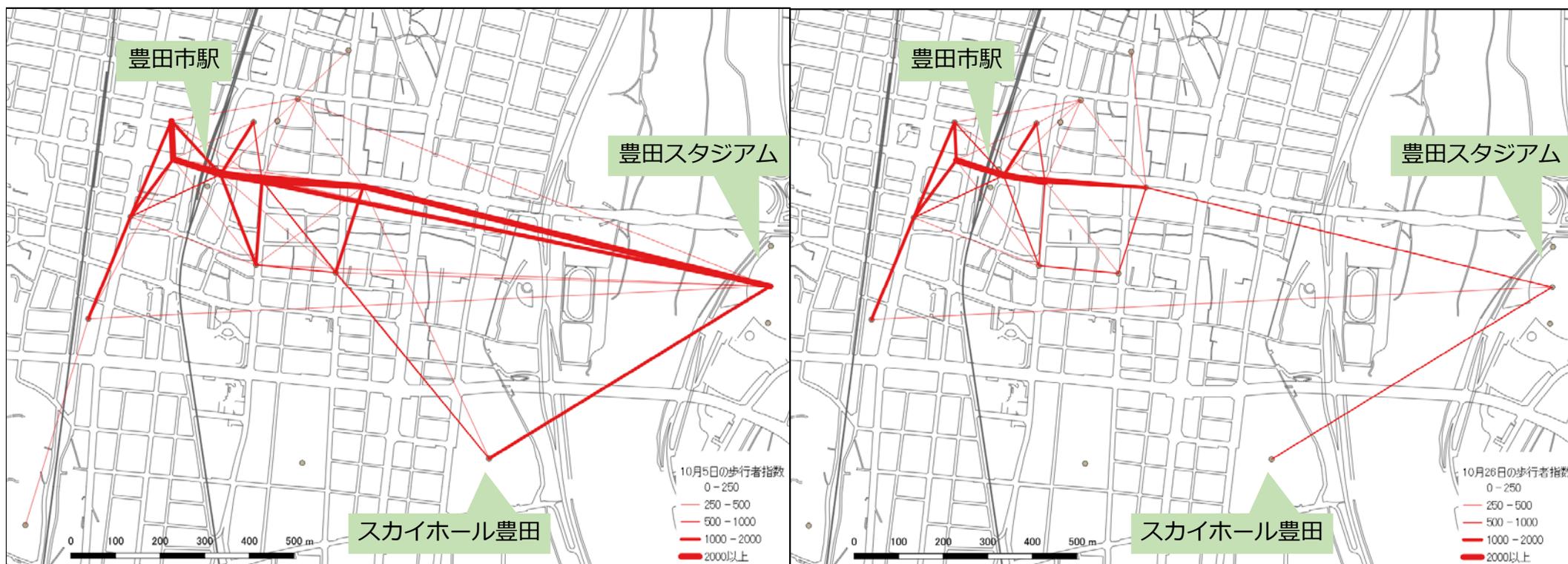


図 日本vサモア戦当日  
10月5日 (土)

図 試合なしの土曜日  
10月26日 (土)

# ある施設に滞在した人の移動範囲の様子

ある施設に来訪した人が他に訪問している箇所を見ると、豊田スタジアムに来訪した人は、豊田市中心部の広い範囲に訪れている様子が確認できます。

